

■2年生が「さくら園」「明日香園」と交流しました

桂川小学校 校長 辻秀志

小学校低学年（1年生・2年生）は、生活科という授業が行われています。2年生は年間105時間行います。生活科の目標は、「具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々との関わりに関心を持ち、自分の生活について考えさせ、自立への基礎を養う」ことにあります。

そこで、今年から2年生は、町内にある高齢者施設である「さくら園」と「明日香園」との交流を始めました。

6月に施設の方に来ていただき、各園の様子を説明していただきました。

そして、子どもたちは、お年寄りの方に喜んでもらいたいという気持ちを持って、7月6日に各園を訪問しました。

園の方々のご協力により、七夕飾りをつけて、子どもたちがお礼の言葉かけなどをしました。七夕の願いには、「元気に過ごしてください」「長生きしてください」などの温かい言葉もありました。

10月には、再度訪問して、ダンスを披露する計画です。少子高齢化が進む中で、お年寄りをお大切にする気持ちを育み、地域の人々との交流を通して地域の高齢者を見直す機会にしていきたいです。

■鍛えよう！褒めよう！プロジェクト

桂川東小学校 校長 栗原聡

桂川東小学校では、子どもたちに、「目標」を持たせ「鍛えて」「ほめて」「可能性をのびす」というプロジェクトに取り組んでいます。

6月12日に福岡県立嘉穂高等学校と嘉穂附属中学校の吹奏楽部の演奏会を実施しました。月曜日にもかかわらず地域の方も50名以上の参加があり、大盛況でした。

部員の中には桂川東小学校や桂川中学校を卒業した生徒もいて、演奏を聴いた子どもたちは「自分も演奏したい」「カッコいいな」など先輩たちにあこが

ていました。

また、本校では、1年生から6年生でグループをつくり、「掃除」や「体力づくり」に取り組んでいます。

7月13日には、「縄跳び名人」佐藤拓広先生に来ていただき、演技披露やグループ練習のアドバイスをしていただきました。

名人は、小学校の時に「縄跳び」に興味を持ち、自分で練習をして世界大会に出場するまでになったそうです。

来年2月4日には「全校縄跳び大会」を実施します。縄跳びを通しての「体力づくり」「仲間づくり」「心づくり」をぜひご覧ください。



■「活動するから元気になる！」学校支援ボランティアの活動

桂川町学校支援地域本部

6月29日(木)、町の小中学校で授業支援等を行っている学校支援ボランティアの皆さまを対象に、今年も学校支援ボランティア研修会を開催しました。

住民センターを会場に、多くのボランティアの皆さまの参加を得て、昨年1年間に行われた学校支援活動を映像を通して振り返りました。

後半は大分県の落語家・矢野大和さんが講演を行い、笑いの連続の中にも、「元気だから活動するのではなく、活動するから元気になるんです」と心に残るフレーズをいただきました。

ボランティアの方々は、「子どもたちの笑顔に出会えることが一番です」、「子どもたちの成長に役立っているならうれしいです」など、これからの学校支援活動への抱負を述べられました。

桂川町学校支援地域本部では、学校支援ボランティアを募集中です。興味のある方はぜひ一度お問合せください。

問合せ先／桂川町学校支援地域本部（桂川町教育委員会 学校教育課内）

☎65・1149

